

平成30年度(2018年度)

管理事業名	シティプロモーション事業			総合計画の体系	第7章 第1節	活力あふれにぎわいのあるまちづくり 地域の特性を生かした産業の振興	
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 7	商工費	(項) 1	商工費	(目) 2	商工振興費
部局名	都市魅力部	予算執行所属		シティプロモーション推進室			
予算大事業名 商工業振興事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)総務費(項)総務管理費(目)シティプロモーション費 一般事務事業、シティプロモーション事業、「地方の時代」映像祭支援事業、大学のあるまちづくり事業						
事業の目的と概要 【目的】 全国的に人口減少・少子高齢化が進む中で、本市が持続的に発展するために、本市が持つ魅力を積極的に発掘・発信し、市民にとって「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった市への愛着や誇りが醸成される取組を実施します。 【概要】 ・シティプロモーション事業(市民にとって市への愛着や誇りが醸成される取組を実施) ・「地方の時代」映像祭支援事業(本市で開催される全国規模で唯一のドキュメンタリー映像祭典を支援) ・吹田まつり補助事業(市民相互の交流や親睦を図ることを目的とした、市民主体による吹田まつりへの補助を実施) ・観光企画推進事業(地域経済の活性化を目的として、地域の特性を生かした観光施策を実施) ・情報発信プラザ事業(市の情報発信施設「吹田市情報発信プラザ(Inforestすいた)」の管理運営)							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
吹田まつり協賛、協力団体数	件 (延べ)	463	535	561	吹田まつりへの協賛、協力団体数(目標件数:前年度以上)
SNSによる情報発信回数	回	255	182	458	①すいたんSNS(ツイッター・フェイスブック)及び②市公式インスタグラム発信回数 目標件数:①は市役所閉庁日を除く毎日発信、②は週2回
成果の説明	吹田まつりには昨年と同等以上の協賛をいただき、目標を達成することができました。 SNSによる情報発信については、平成30年度からすいたんのツイッター・フェイスブックに加え、市公式インスタグラムを新たに開設して投稿を行いました。目標の発信件数を超えることができました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	553	2,483	3,447	964
経常収入 小計(a)	553	2,483	3,447	964
給与関係費	69,933	75,750	90,518	14,768
物件費	29,037	28,450	32,374	3,923
維持補修費	120	-	77	77
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	15,039	15,018	15,024	6
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	1,032	1,032	1,032	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	4,944	5,639	7,184	1,545
退職手当引当金繰入額	34,962	11,187	20,366	9,180
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	155,067	137,076	166,574	29,498
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△154,514	△134,593	△163,127	△28,534
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△154,514	△134,593	△163,127	△28,534
一般財源充当額	120,957	127,741	147,913	20,172
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△33,557	△6,852	△15,214	△8,362

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	職員2名増員による増加
物件費	シティプロモーション冊子製作を含めた印刷製本費2,811千円やラッピングカー「すいたん号」の車両リース費297千円等による増加

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	553	2,483	3,447	964
行政サービス活動支出	121,510	130,224	151,360	21,136
行政サービス活動収支差額	△120,957	△127,741	△147,913	△20,172
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△120,957	△127,741	△147,913	△20,172
一般財源充当額	120,957	127,741	147,913	20,172
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	行政サービス活動収入964千円の増加につきましては、すいたんマスコットの販売収入増加によるものです。
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
情報発信プラザ(Inforestすいた)来訪者1人あたりのコスト	平成28年度	255,867人	88円	情報発信プラザ(Inforestすいた)来訪者1人当たり60円のコストがかかっています。(経常のうち情報発信プラザに関する経費25,018千円を実績で割って算出しています。)マンホールカードの配架や展示企画の充実により来訪者が増加しました。
	平成29年度	395,393人	62円	
	平成30年度	413,818人	60円	
市民1人あたりのコスト	平成28年度	369,522人	420円	平成31年3月31日現在の吹田市人口で算出しました。主に給与関係費、物件費が増加したことにより、市民1人あたりのコストが増加しました。
	平成29年度	370,072人	371円	
	平成30年度	371,030人	449円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	5,639	7,184	1,545
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	5,639	7,184	1,545
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	7,827	6,795	△1,032	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	61,036	73,673	12,637
建物・工作物	7,827	6,795	△1,032	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	61,036	73,673	12,637
無形固定資産	200	200	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	66,675	80,857	14,182
建物・工作物	-	-	-	純資産	△58,648	△73,861	△15,214
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	-	-	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	8,027	6,995	△1,032
資産の部合計	8,027	6,995	△1,032	負債及び純資産の部合計	8,027	6,995	△1,032

Ⅲ 財務構造分析

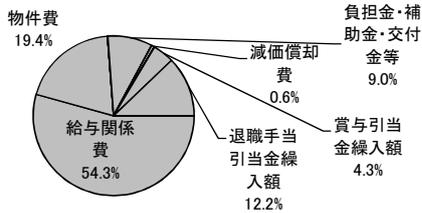
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
	11.08 人	1 人	124 日	9 人	118,068
給与関係費等	113,122 千円	3,843 千円	1,102 千円		
内、時間外勤務手当	5,777 千円				

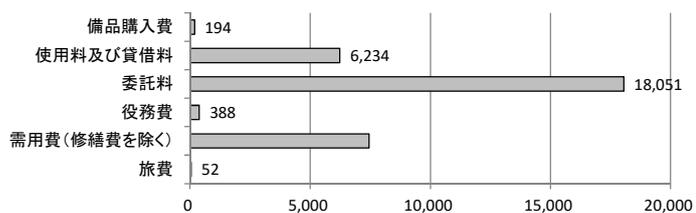
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	情報発信プラザ(Inforestすいた)内の工作物の減価償却による1,032千円の減
無形固定資産	すいたんに係る著作権

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	情報発信プラザ(Inforestすいた)
取得年月日	平成27年(2015年)10月1日
建物・工作物の取得価額	10,322 千円
建物・工作物の減価償却累計額	3,527 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	
施設維持補修費比率	1.2	-	0.7	0.7
施設老化比率	14.2	24.2	34.2	10.0
受益者負担比率	-	-	-	-
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	99.5	98.1	97.7	△ 0.4
経常費用対公共資産比率	1502.3	1328.0	1613.8	285.8

【参考:市保有施設全体の老化比率は56.2%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、給与関係費が90,518千円(54.3%)、物件費が32,374千円(19.4%)、退職手当引当金繰入額20,366千円(12.2%)、負担金・補助金・交付金等が15,024千円(9.0%)、賞与引当金繰入額7,184千円(4.3%)です。
給与関係費14,768千円の増加につきましては、情報発信によるシティプロモーションの強化や市制施行80周年記念事業、吹田まつりの魅力向上を図るための検討等を進めるために、シティプロモーション推進室職員を2名増員したことによるものです。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

シティプロモーション事業は、シティプロモーション推進室だけで実施できるものではなく、各室課それぞれの特性を生かした庁内横断的な取組や、市民から魅力が広がる仕掛けづくりが必要です。各室課の魅力的な取組に関わることや、市民と一緒にシティプロモーションを考える仕掛けを積極的に推進していきます。また、市への愛着が増すようなグッズの販売について、財源確保とのバランスを考慮しながら検討していきます。
吹田まつりにつきましては、魅力アップ検討委員会を実行委員会内に立ち上げ、50回以降のまつりをより魅力ある市民のまつりとなるよう企画、運営並びに今後のあり方等の検討を進めてきました。
情報発信プラザ(Inforestすいた)につきましては、万博記念公園やPanasonic Stadium Suitaをはじめとした市内施設との魅力ある連携企画を引き続き実施し、来訪者数の増加に努めていきます。